

刊行に寄せて



文部科学大臣

下村春三

文部科学省では、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化芸術における施策の新しい動きについて、広く国民の皆様に御紹介するために、「文部科学白書」を刊行しています。

平成25年度文部科学白書では、特集として、「2020新たな成長に向けて」「教育再生に向けた取組の加速」の二つのテーマを取り上げました。

平成25年9月に、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決まりました。この2020年を単に大会開催の年とするのではなく、新たな成長に向かう契機の年として位置付け、東京だけでなく日本社会を元気にするための取組を進めていくことが重要だと考えています。

特集1「2020新たな成長に向けて」においては、2020年を契機の年として、この年を目指して進めていく文部科学省の様々な取組について述べています。

第二次安倍内閣では「教育再生」を「経済再生」と並ぶ我が国最重要課題として掲げています。

少子高齢化やグローバル化の進展など、我が国の現在と将来を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。この危機的状況を乗り越えるためには、教育の質

を向上し、一人一人が持つ可能性や能力を国内外で最大限伸長させることにより、個々の人生を豊かにするとともに、生産年齢人口が減少する状況の中で、一人一人の生産性を向上させることで、社会全体を一層発展させていくことが重要になります。すなわち、人材こそが最大の資源である我が国が、今後も成長を続け、国民一人一人が豊かな人生を送るためには、「未来への投資」である教育の充実こそが最も重要なと考えます。

こうした問題意識から、現在、国の根幹を形作る最重要施策としての教育の再生に全力を挙げて取り組んでいます。

特集2「教育再生に向けた取組の加速」においては、第2期教育振興基本計画の策定や中央教育審議会及び教育再生実行会議における審議状況を踏まえた、教育再生を加速させるための様々な取組について述べています。

文部科学行政の推進のためには、国民の皆様の御理解と御協力が不可欠です。本白書が幅広く活用され、皆様の理解を深めていただく一助となれば幸いです。